

令和8年第4回公安委員会会議録

日時	2月12日（木曜日）	自午後 1時30分 至午後 4時15分	場所	公安委員会室
会議出席者	公安委員	甲斐委員長 野口委員 小野委員 宮尾委員 吉田委員		
	警察職員	警察本部長 警務部長 生活安全部長 刑事部長 交通部長 情報通信部長 警備部参事官		

第1 定例会議

1 令和7年中の犯罪認知・検挙状況について

警察本部から、令和7年中における刑法犯や「電話で『お金』詐欺」等の認知状況、少年犯罪やサイバー犯罪の検挙状況等について報告が行われた。

公安委員から「過去10年間におけるトレンドを見て、昨年1年間を振り返るという考え方、管理の方法は非常に良いと思う。」「電話で『お金』詐欺とSNS型投資・ロマンス詐欺の被害額が合計で約30億円超ということだが、もし民間企業で約30億円超の利益を出そうとすれば、熊本でも有数の大企業と同規模の売上げが必要となり、被害の重大さを実感する必要がある。」「電話で『お金』詐欺の手口について、融資保証金詐欺や還付金詐欺に変わってきていると思っていたが、オレオレ詐欺が依然として多く、大きな課題だと感じた。」旨の発言があった。

また、公安委員から、風俗事犯の検挙数が増加していることに関し「何か取締りや立入りをを行うなどした結果、増加したのか。」旨の質疑があり、警察本部から「令和5年に施行された性的姿態撮影等処罰法を適用しての検挙が増えたことが主な要因である。」旨の説明があった。

2 令和7年中の犯罪検挙状況について

警察本部から、令和7年中における刑法犯（罪種別）、暴力団犯罪、匿名・流動型犯罪グループによる犯罪、薬物犯罪、来日外国人犯罪等の犯罪の検挙状況について報告が行われた。

公安委員から、薬物犯罪に関し「薬物の供給源として、暴力団やその周辺者が関わっているのか。」旨の質疑があり、警察本部から「薬物は暴力団の資金源であり、関わっていると考えている。」旨の説明があった。

また、公安委員から「重要犯罪がどれだけ検挙されるかというのは、安心と安全のポイントだと思うので、検挙率にはこだわってもらいたい。」旨の発言があり、警察本部から「体感治安に関わるような事件、社会的反響の大きな事件については、早期に検挙を図り、県民の安心感の醸成につなげていきたい。」旨の説明があった。

3 「熊本城マラソン2026」（第13回大会）の開催に伴う警察諸対策について

警察本部から、令和8年2月15日に開催される「熊本城マラソン2026」における交通対策、雑踏対策等について報告が行われた。

第2 報告・決裁等

- 1 援助の要求の決裁（警備第二課）
- 2 犯罪被害者等給付金支給等の裁定に係る審査基準改正の決裁（広報県民課）
- 3 苦情（R7. No.32）の調査結果の決裁（生活安全企画課）
- 4 令和7年中の警察苦情取扱い状況の報告（監察課）
- 5 令和8年全国優秀警察職員表彰被表彰者決定の報告（監察課）
- 6 監察についての報告（監察課）
- 7 令和8年公安委員会会議録（第1回、第2回）の決裁（公安委員会事務室）